



食物栄養科 特任教授

田草川 憲男 (たくさがわ のりお)

Takusagawa Norio

自己紹介 (プロフィール)	小学生の頃病気をしたときに「何か足りないものがあるのかなあ？」と親に聞いたことがあります。そのころから「食」に関心があったのかもしれませんが、食生活や運動を通して「健康づくり」の実践活動が地域に広まれば良いと思っています。楽しい学習を心がけています。
学生へのメッセージ	自分の気持ちや意見を相手に素直に伝えるコミュニケーション能力が大切です。そのために、学生生活の中で、良い友達を作って欲しいと思います。また、授業で学習していることが社会でどのように活用されているのか、社会での勤務経験の中から業務に生かせる能力をお伝えしたいと思います。
保有資格・免許	管理栄養士 健康運動指導士 中学校教諭 2 級普通免許状
研究分野	公衆栄養 健康づくり地域組織育成 健康づくりのための運動
現在の研究テーマ	料理カード等を活用したポピュレーションアプローチの研究 健康づくりと減塩の研究 県産材を活用したステップ台による運動の研究
主な担当科目	社会生活と健康 衛生法規 公衆衛生学総論 知的生活の探求 ライフスタイルと健康
学外での活動	公益社団法人山梨県栄養士会長 (H20～) 山梨県地域・職域保健連携推進協議会委員 (H20～) 山梨県社会福祉審議会委員 (H21～) 山梨県食の安全・安心審議会委員 (H24～) 山梨県介護・医療連携推進協議会委員 (平成 24～) 山梨県長寿やまなし推進本部委員 (平成 20 年～)
所属学会	日本栄養改善学会

主な職務実績（抜粋）

事項 (単独・共同)	年月日	概要
(社会教育講座)平成20年度県民コミュニティーカレッジ地域ベース講座(リカレント講座)テーマ「健康を支えるコミュニティー力の理解と実践」分科会座長	H21.2.28	分科会テーマ「健やか山梨21」における栄養・食生活の推進」の座長を務めた。日常生活や仕事の場において様々なコミュニティーの中で、健康を支える具体的な方策や仕組みなど、実践的な情報提供の場にとの考えから、健やか山梨21を進めている行政・学校現場・農林水産省の立場から発表いただき、山梨県における健康づくり活動の一助とした。(特定非営利法人大学コンソーシアムやまなし主催、於：山梨大学)
(社会教育講座)「食育シンポジウム」コーディネーター(共同)	H23.6.7	「～食育～周知から実践へ」をテーマに、「食育全般」について、一般県民を対象とし、食育の実践事例の紹介や関係者の連携・共同等について意見交換を行い、多くの県民に「食育」を理解・実践していただく契機とするために開催した。 コーディネーターとして、3名の事例発表者と参加者を変え意見交換を行った。(山梨県主催、山梨県食育推進協議会共催、於いて：山梨県立文学館)
(社会教育講座)：健康保険委員研修会講師	H24.11.29	「今の健康を10年後も保てますか～みんなで生活習慣病を考えよう～」と題して、各事業所から推薦された健康保険委員を対象に、特定健診・特定保健指導の仕組みと健診の重要性、生活習慣と日常性における食生活と運動について講話した (全国健康保険協会山梨県支部主催、アピオ甲府)
(社会教育講座)健康運動指導士更新講習会講師	H25.2.6	「健やか山梨21(第2次)計画」の(素案)のうち栄養・食生活部門について解説した。特に山梨県民の課題である食塩・野菜の摂取量、適正体重の維持のための食生活について解説すると共に、この計画を県民にいかに関わり広め・実践していくかについて提案した。(NPO法人日本健康運動指導士会主催、小瀬スポーツ公園武道場)
(社会教育講座)山梨ことぶき勸学院	H26.5.9 他5会場	「高齢者の食生活と運動」をテーマに、これからの人生を元気に生活するための望ましい食生活と介護予防のための運動について、料理カードを活用した食事のバランスについて、お互いに確認する。また、減塩の意識やロコモティブシンドロームについて学習し、健康づくりのための運動について、どんな運動をどのくらいすればよいのかを解説。 山梨県の健康づくり計画である「健やか山梨21」について解説し、山梨県における健康課題とその対策について、解説した。(山梨県教育委員会・山梨ことぶき勸学院主催、都留教室：上野原市文化ホール、中北教室：北巨摩合庁、南巨摩教室：びゅあ富士、峡東教室：東山梨合庁、峡南教室：南巨摩合庁、甲府教室：勸学院教室の6会場)
(社会教育講座)給食施設関係者研修会	H26.8.7・8	「施設給食の在り方」をテーマに、管理栄養士・栄養士・調理師・調理員・事務職を対象とした研修会で、高齢者施設における給食に関わる業務についての解説と2月の大雪における対応について、調査結果の解説と事例発表を行い、今後における災害備蓄食品在り方について考える機会とした。(山梨県社会福祉協議会主催)

主な教育研究業績（抜粋）

著書、学術論文等 （単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等	概要
わかりやすい公衆栄養—第2版 （共著）	H22.4.1	三共出版	本書は管理栄養士、栄養士養成課程の教科書として役立つよう編集され、管理栄養士国家試験の範囲を網羅する内容となっている。公衆栄養と健康・栄養行政、栄養行政の歴史や組織、栄養関係法規、公衆栄養施策について、可能な限り最新の情報を盛り込み実践に活用できるよう配慮して執筆した。（「4健康・栄養行政」担当）
県産材を活用した健康器具（ステップ台）の制作と活用（共著）	H24.3.25	一般社団法人山梨県木材協会主催「甲斐の木活用推進事業報告会」	高齢者が健康で寝たきりを予防し自立した生活（健康寿命）が長く送れるよう、県産材を活用し、下肢等の筋力強化ができる安全で手軽な運動器具（健康ステップ台「げんき君」）を開発した経過と、地域の健康づくり教室等で普及啓発した実績を発表した。
「料理カードを活用したポピュレーションアプローチのための栄養教育支援ソフトの開発」（共著）	H24.9.13	第59回日本栄養改善学会（名古屋国際会議場）	料理カードを活用した食事診断ソフトの開発をした。開発の条件は、料理の分量を増減・エネルギーの出力は食事摂取基準を自動的に提示・個別のエネルギーを直接入力あるいは、基礎代謝量から算出するなどいずれかの方法が選択できる・栄養素及び食事摂取基準を標記する・食事バランスガイドによる評価を図示する・入力データを蓄積できることとした。
開発した「料理カードを用いた食事診断ソフト」の活用（共著）	H25.9.13	第60回日本栄養改善学会（神戸国際会議場）	より汎用性の高い食事診断ソフトに修正することを目的とした。 また、食事診断ソフトを山梨県栄養士会のホームページ上で公開し、ニーズを把握することを目的とした。